

2016 年度 外国法総論（フランス法 I）レポート要領

以下の要領でレポートを作成し、7 月 29 日（金）までに法学部事務所に提出してください。

一 論題

- 1 指定されたテーマのいずれか 1 つに関する論述
（分量：A4 用紙 2 枚以内）
- 2 フランス法参考図書のいずれか 1 冊を読んだ感想
（分量：A4 用紙 2 枚以内）

【注記 1】 論題 1 については、以下のテーマから選択すること。テーマは論題において明記すること。

- A. フランス旧制度における法の存在形態
- B. 啓蒙思想における立法権力の問題
- C. 1789 年の人権宣言と近代社会
- D. フランスの裁判制度
- E. ナポレオン体制とフランス現代法

【注記 2】 論題 2 については、選択した文献を論題において明記すること。

二 体裁

- プリントアウトしたものを提出すること。
- レポート用表紙（事務所にて配布）を付け、2 種類をまとめて綴じて提出すること。
- 参考文献を明示すること。文献の記述の一部をそのまま利用した場合は、注を付し引用を施すこと。引用方法については下記を参照のこと。
- 剽窃行為（特にインターネットからダウンロードした文書の貼付）をしないこと。

引用方法

書籍

著者（訳者）『書名〔第○版〕』（出版社、出版年）□頁／□-△頁

例：P. ニコル（金沢誠他訳）『フランス革命』（白水社、1965 年）3 頁。

論文

著者「題名」『書名〔第○版〕』（出版社、出版年）□頁

著者「題名」雑誌名 巻号など（発行年）□頁

例：柴田三千雄「補論 フランス革命と明治変革」同『フランス革命』（岩波書店、2007 年）287 頁。

以上